

第1回 香南市地域公共交通会議

議事録

- 日時：令和5年5月18日（木）14時00分～15時25分
 - 場所：香南市役所本庁 304・305・306 会議室
 - 出席委員：別府誠（香南市副市長）、坂本泰資（代理出席：又吉聡志 高知東部交通（株））、今西俊雄（（有）平和観光）、中村光明（（株）のいちタクシー）、山本倫世（（有）さくらハイヤー）、松山明夫（（社）高知県バス協会）、金谷正文（土佐くろしお鉄道（株））、横山郁夫（香南市社会福祉協議会）、吉田雅彦（住民・利用者代表）、山中節子（住民・利用者代表）、宮野広至（四国運輸局高知運輸支局）、山本圭（四国運輸局高知支局）、西内裕晶（高知工科大学）、秋山亘稔（南国警察署）、太田豊（代理出席：大北幸平 土佐国道事務所）、坂本桂（代理出席：佐竹由衣 高知県交通運輸政策課）、門脇佐代子（香南市教育委員会）、都築敏夫（香南市高齢者介護課）
 - 欠席委員：野島康博（（有）野島ハイヤー）、山中敦志（高知県中央東土木事務所）
 - 随 行：久保敦裕（土佐国道事務所）
 - 事務局等：弘田満紀、小川哲弘、宮崎遼（地域支援課）
土居貴之、藤田順也（合同会社えこ・まち研究室）議事録作成
-

開会

事務局より、委員20名のうち18名が出席であり、会議が成立していることを報告。

1. 会長挨拶

本年10月の市営バス再編に向けて、市営バス再編計画や予約式乗合タクシーの運行計画、地域公共交通利便増進実施計画などについて協議していただく。委員の皆さんには忌憚ない意見をいただき、市民の移動手段の利便性向上につなげていきたい。

・委員自己紹介

2. 協議事項

- (1) 市営バス再編計画及び予約式乗合タクシー運行計画
- (2) 自家用有償旅客運送登録の更新

事務局より資料1-1：市営バス再編計画及び予約式乗合タクシー運行計画（変更点の整理）、資料1-2：市営バス再編計画及び予約式乗合タクシー運行計画（詳細）、資料2：自家用有償旅客運送登録の更新について説明。

○ 吉田委員（住民・利用者代表）より質問

資料 1-2、54 ページの 3. (1) 市営バス乗り放題券について、予約式乗合タクシーも利用が可能なのか。

⇒ 事務局より回答

予約式乗合タクシーは利用できない。

○ 西内委員（高知工科大学）より質問

予約式乗合タクシーの運賃は、なぜ 100 円にしているのか。費用負担が発生することが原因で乗り放題券の対象外なら、運賃をもっと上げてもいいのではないか。100 円で利用できるのであれば、乗り放題券に入れてあげてもいいのではないか。

⇒ 事務局より回答

予約式乗合タクシーとしての運行を計画している路線は、元々市営バスとして運行している路線であり、利用者にとって予約が必要になり利便性が下がると考えるので、運賃は今と同じ金額で利用できるよう調整している。予約式乗合タクシーの乗り放題の対象外にしたのは、委託費で運行する市営バスと違い、予約式乗合タクシーは、予約の度に経費が上乗せとなるからである。

⇒ 全員賛成により承認。（市営バス再編計画及び予約式乗合タクシー運行計画）

⇒ 全員賛成により承認。（自家用有償旅客運送登録の更新）

(3) 地域公共交通利便増進実施計画及び地域公共交通計画の変更

事務局より資料 3：地域公共交通利便増進実施計画及び地域公共交通計画の変更について説明。

○ 大北代理委員（土佐国道事務所）より質問

資料 3 の中で説明している「地域内フィーダー系統」と「高知東部交通バスロケーションシステム」とはどういう意味なのか。

⇒ 事務局より回答

地域内フィーダー系統とは、現在の市営バスの事を意味しており、のいち駅や夜須駅の土佐くろしお鉄道の鉄道や、高知東部交通の路線バスの交通結節点から枝のようにつないでいる路線のことである。

高知東部交通バスロケーションシステムは、スマホなどを活用し、リアルタイムで運行しているバスの位置情報が分かるシステムである。

⇒ 全員賛成により承認。

(地域公共交通利便増進実施計画及び地域公共交通計画の変更)

(4) 地域公共交通計画の事業評価及び取り組み

事務局より資料4：地域公共交通計画の事業評価及び取り組みについて説明。

○ 西内委員（高知工科大学）より質問

資料4、4ページ⑦のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討について、今年度の取り組みとして、香美市役所の担当者と意見交換会など協議を行ってはどうか。香美市は今年度に公共交通計画を策定する予定であるので、お互いのニーズが合えば計画が進みやすくなるのではないかと考える。

資料4、5ページ⑫のいち駅の機能充実について、資料3にてスケジュールを変更しているので資料の修正をしなくてもいいのか。あと、スケジュールのいち駅乗り入れ開始時期変更は、具体的に話が進んだのでスケジュールを変更しているのか、問題があるので時期を先送りして変更しているのか。

資料4、8ページ⑲市営バスパスポートの導入について、割引対象に子育て世代の小学生未満の保護者も対象に加えられればいいのではないかと考える。

⇒ 事務局より回答

⑦のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討について、香美市役所と協議できるように調整していく。

⑫のいち駅の機能充実については、資料のスケジュールを修正する。今回スケジュールを変更したのは、高知東部交通と協議して、道路上の安全性確保の調整が必要なことから期間を延長している。

⑲市営バスパスポートの割引対象について、子育て世代を含むことを検討していなかったため、事務局内で一度検討する。

○ 又吉代理委員（高知東部交通）より報告

資料4、7ページ⑰公共交通利用促進にむけた情報発信の強化について、交通結節点などにデジタルサイネージの設置を行い、利用者が便利に乗りやすくしていくよう取り組んでいきたいと考えている。

昨年度からフジグラン野市で買い物をした利用者に、路線バスで利用出来る運賃の割引サービスを実施している。民間の商業施設との取り組みであり、行政とは別になるが、地域で公共交通を盛り上げていこうと実施している。こうした取り組みが他の商業施設にも広がり、地域で盛り上げていけたらと考える。

○ 大北代理委員（土佐国道事務所）より質問

資料 4、11 ページ⑳観光産業と連携した魅力ある交通体系の構築の取り組みの中で、周遊バスがなぜ夜須駅を起終点としているのか。のいち駅の方が利用者は多いのではないかと考える。

別添 4、地域公共交通計画の評価等結果の目標 1 で、市営バス年間利用者数の目標が、令和 9 年度に利用者数 40,000 人は、現状の利用者数から達成できる想定になっているのか。

⇒ 会長より回答

夜須駅は、車を利用する人も利用出来る広い駐車場があり、夜須駅の方がイベント会場まで近いので、起終点としているのではないかと考える。

⇒ 事務局より回答

市営バスは過去一番多い時で年間 38,000 人の利用者がいた。高齢化やコロナ禍の影響で利用者数が減っていたが、少しずつ戻ってきている。今回の再編で路線も増えているので、大きな目標として 40,000 人もいけるのではないかと考える。

○ 会長より決議

資料 4、5 ページ㉑のいち駅の機能充実のスケジュールについて資料を修正し、その他今年度取り組みが調整できる内容については追記していく。

⇒ 全員賛成により承認。（地域公共交通計画の事業評価及び取り組み）

3. その他

(1) 今後のスケジュールについて

事務局より資料 5：今後のスケジュールについて説明。

⇒ 質問や意見などは無し

閉会